

## バラク・オバマ の恐怖の闇 10月14日

バラク・オバマは 2008年のアメリカ合衆国大統領選挙においてヒラリー・クリントンとの接戦の末に民主党の大統領候補に指名され、共和党のジョン・マケインを抑えて当選しました。2009年1月20日に就任し、ジョー・バイデンが副大統領にヒラリー・クリントンが国務長官になりました。その9ヶ月後には、2009年のノーベル平和賞を受賞しました。アメリカ政界の闇を全く知らなかった私は、黒人初のオバマ大統領の大ファンになりました。

しかし、父ブッシュ、ブッシュジュニア、クリントン、オバマと続いてきたディープステート傀儡政権の中でオバマ大統領が最も狡猾で残忍な大統領だったことが分かってきました。

6月4日に60歳の誕生日を迎えたオバマ元大統領の誕生野外パーティーが マサチューセッツ州の保養地マーサズビンヤード島の豪邸で開催されました。

そのパーティーの密告情報から オバマ元大統領の恐怖の闇の一部を知ることができます。

オバマ大統領が任命したFBI長官だった ジェームズ・コミーの軍事法廷(6月28日に死刑執行)からもオバマ元大統領の恐怖の闇の一部を知ることができます。

そしてオバマ大統領は 史上最悪の爆弾魔でした。



[2021-08-15](#)

[潜入者が語るオバマの60歳誕生日パーティーの真実](#)

<Real Raw Newsより>

それは恐るべきアドレナクロム・パーティーだった

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2021/08/15/120305>

**アドレナクロムが安酒のようにふるまわれる**

ディープステートの作業者であるJay-Zとビヨンセの音楽に合わせてダンスフロアで練り広げられたオバマの誕生日パーティー(これは当初の1,000人から規模を縮小し200-300人のマスクなしゲストが参加)の異常性に気がついている。

しかし、一般人がまだ知らないのは、マーサ蒲萄園にあるオバマの豪華な屋敷の中のプライベート・ベッドルームと薄暗い光の回廊で起こったこと—**有名人と政治的エリートがそこで互いにアドレノクロムを注入していたことだ。**



**われわれが信頼性検証を行った匿名を希望する内部告発者が語る**

「オバマの60歳パーティーの参加者は、このイカれたパーティーの情報の共有を禁じる秘密保持契約に署名しなければならず、署名を拒否した人物は入場を拒否された。しかし一旦入場するとゲストは、官能の喜び、ライブ・ディープステート・ミュージック、アドレノクロム注射(訳者注: **一本2000万円**以上するといわれている)で接遇された。そこではアドレノクロムはまるで安酒のように溢れていた。」

「一晩中定期的に、黒いスーツを着てクロム・メタルケースをもったずんぐりした男が群衆の中を蛇行し、無料のパーティーの引き出物を楽しみたいかどうかゲストに尋ねていた。彼は注射器をもっていた。」

『はい』といったゲストは、ダンスホールからオバマの写真が両側に飾られた窓のない木板の廊下に2人ずつエスコートされた。その廊下は一對のスイング式のオークドアで終わっており、その向こうでゲストたちはアドレナクロムによる逸脱に耽った。」

「いかつい男が近づいてきたとき私はまだ20分しかそこにいなかった。彼は金属製のアタッシュケースを開けたが、その中に6本の恐ろしい注射器が見えた。私は『僕はいらぬよ。もうワクチン接種を受けたからね』ととぼけた。彼はケースを閉じないまま私を一瞬睨みつけた。そこでぼくはヘロインはやらないんだと付け加えたが、彼は『これはヘロインではありません。あなたが今までやったことがないのであれば、これは今までのものよりずっといいですよ』といった。」

### 次々に奥の部屋に消えるセレブとエリートたち

「私はそれが何であるかを正確に知っていたよ。」とこの情報源はいう。「俳優のブラッドリー・クーパーとドン・チードルと一緒に部屋に入り、その後にスティーブン・スピルバーグとクリッシー・ティーガンが続いた。ナンシー・ペロシとオバマの元司法長官エリック・ホルダーも部屋に入り、20分後に顔に大きな笑顔を浮かべて出てきた。」

「私は部屋には入っていないが、ゲストが『アドレナクロム』という言葉やささやいているのを聞いたし、彼らがヤクをやっていたのは間違いない。アリア・キーズ、ピート・ソウザ(フォト・ジャーナリスト)、オプラ・ウィンフリー(トーク番組司会者)、彼ら全員がやっていた。」

少なくとも20人がその部屋に行くのを見た。彼らは我々にとっては「不自然」というしかない活力と笑顔に満ちて出てきた。」

我々がこれらの恐ろしい行為の話聞いたときと同じように心がざわついたのは、ゲストがオバマに声をかけるときに「大統領閣下」と呼んだり、もっと媚びへつらって「永遠の大統領」と呼んだりしていたことだった。



私は昔に スティーブン・スピルバーグ監督の『ジョーズ』や『未知との遭遇』の映画を観て 大ファンになっていただけに、この事実には落胆しました。ハリウッドの闇は大きく深いのですね。スティーブン・スピルバーグ監督の1975年に公開された『ジョーズ』は、それまでの『ゴッドファーザー』の記録を破り、1977年に『スター・ウォーズ』に抜かれるまで世界歴代興行収入1位を記録する大ヒットとなり、一流監督の仲間入りを果たす。1977年に公開された、人類と宇宙人のコンタクトを描いた『未知との遭遇』も話題となった。フォーブスの「アメリカで最も裕福なセレブリティ」2位の人物である。2018年には総興行収入が100億ドル(約1兆728億円)を超えた初めての映画監督となった<sup>[1]</sup>。

## ジェームズ・コミーの軍事法廷



### 軍がジェームズ・コミーを逮捕

by Michael Baxter - 4月21日 (Real Raw Newsより)

[https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/04/blog-post\\_21.html](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/04/blog-post_21.html)

米軍が、不祥事を起こした元FBI長官ジェームズ・コミーを、反逆罪、扇動罪、司法妨害罪、犯罪行為に積極的に関与した者を幫助した罪で逮捕した。

ドナルド・トランプは、ノースカロライナ州のキャンプ・ルージュンにある海兵隊レイダー連隊の司令官であるジョン・リンチ海兵隊大佐と話をした後、火曜日の朝にコミーの贅沢な郊外の家を急襲することを許可した。リンチ大佐は、ジョセフ・バイデンを退陣させ、アメリカを国民の手に取り戻すというトランプ大統領の探求に関わる機密情報筋によると、少なくとも2つの4人の分隊を任務に充てたという。

火曜日の午前3時頃、ドナルド・トランプの権限で活動している米海兵隊は、バージニア州マククリーンにあるコミーの7ベッドルーム、10,700平方フィートの豪邸を襲撃した。作戦の詳細はほとんど機密扱いだが、情報源によると、レイダーズはベッドで半分眠っていたコミーを驚かせ、彼が枕の下のピストルに手を伸ばしたところで逮捕した。彼が武器を手にする前に、海兵隊員が突進してきて、ライフルの尻でコミーの額を打ち、コミーは意識を失った。

「トランプの部下は、かなり長い間、コミー邸をデジタル監視していた。彼らは、コミーの妻パトリスが個人的な用事で外出していることや、子供たちが誰も来ないことを知っていた。

トランプ氏はこの瞬間をずっと前から予想していた。これは運命の日なのだ」と情報源は語った。

トランプ氏は、2017年5月9日にコミー氏を解雇した直後に、コミー氏に対する封印された起訴状を作成していたと、我々の情報源は付け加えた。彼は、オバマ政権の後任であるコミーがクリントンの給与名簿に載っており、彼女の権限で、トランプ陣営を2016年の選挙へのロシアの干渉と結びつけて大統領を誹謗中傷しようとしたことを証明する反論の余地のない証拠を入手していた。

さらに、トランプ氏は、コミーがヒラリー・クリントン氏に、トランプ氏の大統領選への出馬をくじくために「必要なことは何でもする」と語った2015年の音声記録を入手していた。

さらに、トランプ氏は、クリントン氏の機密メールの取り扱いに関するコミー氏の偽装捜査は、単に効果のため、不正や偏見の印象を避けるための光学的なものであることを知った。

「コミーは犯罪者のクズだ。彼には良識のかけらもない。トランプタワーを盗聴したことで、トランプも彼を監視している。コミーはGITMOへの移送を待たずに安全な場所に移され、軍事裁判を受けることになる。

コミーがアンソニー・ウィナーのラップトップを手に入れたとき、彼はフーマ・アベディンとヒラリー・クリントンが子供たちにかなりひどいことをしているビデオを見つけたということが明らかになるだろう。

コミーはその情報を公開しなかったが、これはおそらくクリントンの要請によるものだろう」と情報源は語っている。

最後に、私たちは情報源に、これほど多くの逮捕者が出ているのに、被告人の家族や友人が、愛する人が真夜中に誘拐されたとCNNやMSNBCに訴えないのはなぜかと尋ねた。

「ディープステートが彼らを黙らせているとしか考えられない。クリントン、ポデスタ、アベディン、そして今回のコミーのような人物が軍に摘発されたことが公式に知られるようになれば、ディープステートの社会に対する支配力は弱まるだろう。なぜなら、自分たちが負けていることを示すことになるからだ。そして、ディープステートは常に勝っているように見せたがる。彼らはもう長くはないだろう」と情報源は述べた。

トランプ氏、コミー氏にオバマ氏に対する証言のリニエンシー\*を提示

By Michael Baxter -2021年4月23日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/04/blog-post_23.html)より)

[https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/04/blog-post\\_23.html](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/04/blog-post_23.html)

米軍は、最近収監されたジェームズ・コミーに司法取引を申し出た。

ディープステートの最大の立役者である**バラク・フセイン・オバマ**に対する将来の証言と引き換えに、死刑判決を出さないというものだ。

既報の通り、米海兵隊は4月20日、バージニア州マククリーンにあるコミーの高級マンションを急襲し、裏切り者を逮捕してノースカロライナ州のキャンプ・ルージュンに移送した。そこで軍は、最終的にグアンタナモ湾に送られて軍事法廷で証言するのに先立って、コミーを尋問している。

2020年の選挙を無効にし、裏切り者を逮捕するためのトランプの作戦に関与している機密情報源がRRNに語ったところによると、トランプは、16人の愛国者の悲劇的な死とオバマを結びつける証明書にコミーが署名するならば、死刑制度をテーブルから取り除くことに同意したという。

軍部によると、**バラク・オバマ**は2013年7月31日、**コロラド州の民兵グループに対して空爆を許可した**。その民兵グループのメンバーが、コロラド州、ネブラスカ州、ワイオミング州のFEMAキャンプに**ギロチン**が設置されている証拠写真を入手したことを知ったからである。コロラド州の民兵グループは、コロラド州北西部の人里離れた隠れ家に集まり、自分や家族を危険にさらすことなく証拠を広める方法を話し合っていたと軍は主張している。彼らは知らなかったのだが、オバマのスパイが彼らの仲間に入り込み、会議の内容をオバマのヒエラルキーに伝えていたらしいのだ。会合が進む中、シャイアン・マウンテン基地のF-16が隠れ家に自動追尾し、**1000ポンド爆弾「マーク83」を2発投下した。その結果、女性や子供を含む参加者全員が死亡した。**



Barack Obama



F-16 Fighting Falcon



Susan Rice



John Brennan

「オバマ大統領は攻撃の証拠を隠そうとしたが、いくつか失敗したようだ」。トランプと軍部は、コミーが事前に知っていたと考えている。スーザン・ライスやジョン・ブレナンもそうだったが、彼らはすでにGITMOにいる。コミーは法廷から逃れられないが、トランプはオバマを望んでいる。ブレナンがすでに情報を漏らしている可能性もある。トランプはオバマを捕まえるためには、何人かの命を惜しまないだろう」と情報源は語っている。徹底的な調査の結果、RRNは前述の攻撃の証拠を見つけることができなかった。

あの日、コロラド州北西部で爆発や森林火災があったという公の記録はない。また、軍の記録に名を連ねる民兵組織「スリー・パーセンタース\*\*」のメンバーが、この攻撃について公に語ったこともない。「ディープステートは隠蔽と欺瞞の達人であり、その影響力は無限大です。彼らは人々を脅して黙らせることもできました。今、何が起きているかという、オース・キーパー\*\*\*でさえ、裏切り、密告し合っています。トランプはそれが合法だと思っています。そして、軍は証拠を持っているようです。そして彼らは、コミーがオバマの棺桶に釘を打ち込むことができると考えているに違いありません」と関係者は語った。



クリントンが吊るされるのを見て、コミーはカナリアのように歌った  
By マイケル・バクスター -2021年4月29日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/04/blog-post.html)より翻訳)

<https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/04/blog-post.html>

不祥事を起こした元FBI長官でDSの作務員であるジェームズ・コミーは、月曜の夜にグアンタナモ湾でヒラリー・クリントンの首が折れるのを見させられた後、軍に向かってカナリアのように歌っているとReal Raw Newsが伝えた。

ディープステートの裏切り者を根絶やしにするトランプのミッションに関わる機密情報筋がRRNに語ったところによると、キャンプ・ルジュンに一時的に收容されていたジェームズ・コミーは、クリントンの処刑の朝、GITMOに連れてこられたという。コミーは月曜日の夜まで、クリントンと同じ運命をたどるのではなく、残りの人生をGITMOで過ごすことと引き換えに、ディープステートの設計者オバマに不利な証言をするという司法取引を拒否していた。

キャンプ・ルージュンに収容されていたコミーは、偉大な人物と称するオバマを裏切ることはないと看守に反抗的に語り、水責めや電気ショック療法、さらには自白剤にも耐えられるように訓練されていると言って、拷問を受けるように誘った。さらにコミーは、軍がクリントンを逮捕したことを信じていないと捕虜に語った。「ヒラリー・クリントンに触れることはできない。そして、私からは何も得られないだろう」とコミーは言ったという。

月曜の夜、彼の態度は変わった。

「コミーは軍の護衛付きで、足場から数メートルのところにあるハンビー(軍用車両)に座っていた。クリントンが階段を上っていき、首に縄がかけられるところを見させられた。彼女の足元でドアが開くのを見た。自分の将来の運命の可能性を見ていたのだが、それだけでは彼の心は折れなかった。ハンマーのモーターを回し、窓を開けていたので、クリントンの最後の言葉も、トランプ氏の気の利いた返事も聞こえなかったのではないだろうか」と関係者は語る。

コミーは、軍が自分を騙してオバマの情報を吐かせるために芝居じみた演出をしたと考えていたという。彼は軍が"フレッシュマン"の恐怖戦術を使っていると非難した。彼は警備員に、アメリカの情報機関は本物そっくりのマネキンを使って偽の処刑を行い、しばしば自白を引き出すことに精通していると話した。

2時間後、コミーはGITMOの医療ビルに連れて行かれた。そこには、死後硬直を発症して灰をかぶり、硬直したCの遺体がステンレス製のテーブルの上に裸で置かれていた。

「コミーは死体を検査して、それがダミーかどうかを自分で判断することを許されていた。また、部屋の中には一対の防腐剤の機械があった。コミーはほとんどすぐに崩れ落ち、膝をついて『何てことをしてくれたんだ』と泣き叫び、警備員からは『話をしないと次はお前だ』と言われた」と関係者は語っている。

「そんなことはない。話すよ。彼らが知りたいことは何でも話すよ」とコミーは言ったと伝えられている。

情報源によると、コミーは火曜日の朝から話し始め、米海軍法務官事務所の代表がこの48時間、彼の**宣誓証言**を取っていたという。

「宣誓証言の具体的な内容はまだわからないが、すぐにでもやりたい。彼はオバマ家についての情報を漏らしていると思われる。オバマが軍事法廷にかけられ、バイデンの傀儡大統領制が崩壊し、ドナルド・J・トランプが再就任するのは、もはや時間の問題だ」と情報源は語った。



コミー、軍に懇願。"殺さないでください!"

By Michael Baxter -2021年5月10日 (Real Raw Newsより翻訳)

[https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/05/blog-post\\_10.html](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/05/blog-post_10.html)

ヒラリー・クリントンの死体を見て、ジョン・ポデスタの差し迫った運命を知って、パニックに陥ったジェームズ・コミーは、現在GITMOに収容されているが、米海軍法務顧問団に慈悲を乞い、自分が犯した犯罪は常に、より強力なディープステートの幹部の要請によるものだと主張している。

ディープステートとのトランプの戦いに関与している関係者がReal Raw Newsに語ったところによると、コミーはバラク・フセイン・オバマに関する軍の進行中の調査に協力することに同意したものの、軍が答えを求めている特定の事件の詳細を提供していないという。以前に報告したように、法務総監は、2013年にオバマの犯罪的な政権に抗議するためにコロラド州の荒野にある隠れ家に集まった16人のアメリカの愛国者を殺害した違法な空爆に、コミー、オバマ、スーザン・ライスを結びつける証拠を持っている。

「コミーは多くの人に密告していますがオバマのことは話していません。彼は自分の母親を密告するような男です。コミーは自分の死刑執行よりもオバマを恐れているのか、それとも本当に無知なのかだ」と関係者は語った。

軍の調査官は、コミーとオバマの犯罪行為を結びつける十分な証拠を持っていると情報源は付け加えた。その証拠とは、別のGITMO居住者の証言や、コロラド州空爆後にコミーが削除を怠ったコンピューター・サーバーから軍が入手したFBIの内部文書であるとされている。推測ではあるが、3月25日にGITMOに到着したジョン・ブレナン元CIA長官の証言がある。

ブレナンは、オバマ大統領の首謀者として、オバマ大統領のアメリカ市民に対するテロ戦争を支援した。

情報源によれば、デジタル文書の中には、3州のFEMAキャンプに設置されたギロチンの写真を入手した民兵組織「スリー・パーセンターズ」のコロラド州支部に、名前を伏せた2人の捜査官を潜入させることを許可するFBI監視命令が含まれていたという。コミーがこの命令書に署名した1週間後、コロラド州北西部の密林地帯で16人の男女と子供たちが爆風で焼かれたり、吹き飛ばされたりした。さらに、事後報告書には、「国家の安全を守り抜くため」に殉職した捜査官の「勇敢なヒロイズム」が記されていた。彼は死後、FBIの功労賞を受賞した。

「証拠を見せられたコミーは、オバマの関与を否定した。スーザン・ライス、サマンサ・パワー、エリック・ホルダーから指示を受けたと言い、オバマから直接指示を受けたことはない」と関係者は語っている。

しかし、軍の調査官は、コミーの発言は不誠実だと言った。彼らはコミーに、**オバマが大統領在任中にカラードンをはじめとする無数の愛国者の死を命じた**ことを「白状」しない限り、死刑になる可能性が高いと伝えた。軍の調査官はコミーに「ヒラリー・クリントンのようにになりたいのだろう」と言ったという。

「ああ、神様、私を殺さないでください。私は知っていることをすべて話しました」とコミーは答えた。

最後に、情報源によれば、コミーは軍事裁判を受けることになるが、米海軍法務顧問団は、コミーの混乱した精神からすべての機密情報を抽出するまで、彼の裁判を予定しないという。



### ジェームズ・コミー軍事法廷 第1日目

● By Michael Baxter -2021年6月3日 ([Real Raw News](#)より翻訳)

<https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/06/1.html>

ドナルド・トランプが今年の7月か8月に米国大統領に復帰する準備をしている間、米軍は、トランプとジェフリー・ローゼン司法長官代理が「沼の水を抜く」ことを想定して書いた封印された長い起訴状のリストに名前が載っているディープステートの裏切り者を訴訟する取り組みを強化している。

ディープステートの最新の犠牲者は、ジェームズ・コミー元FBI長官である。彼は、木曜日の朝、軍事法廷の前に座り、ジョン・G・ハンニク副提督が、法を遵守するアメリカ市民に対して行った残虐行為により、コミーを絞首台に送ることができる罪状を説明するのを聞いた。

ハンニク副提督はこの日、コミーの人格を痛烈に批判し、かつての主人であるバラク・フセイン・オバマの命令に従うという名目で、無数の市民の死を命じたと非難した。

ハンニク副提督は3人の士官委員会に対し、コミーは**オバマ大統領**が秘密裏に行っていた空中戦や**ギロチンによる処刑計画**を指揮するのを手伝っていたと述べた。彼はパネルに、コミーのサインが入ったFBIの内部機密文書を見せた。その中には、**オバマ大統領のギロチン計画**に抗議するために集まったコロラド州の民兵16人を殺害した空爆に、FBIが参加したことを認める文書もあった。

⑦  
コミーはオバマに、空爆やドローン攻撃は、当時非常に強力だった反対運動を黙らせるための効果的な手段であると伝えた。そして、オバマのアメリカ人に対するテロ戦争に反対する人々を黙らせるには、銃弾よりもギロチンの方が効果的であるとオバマに伝えた。コミーは次のように書いている。

「研究では、コンプライアンスを得るために**ギロチンが有効**であることが実証されている。自分の妻が撃たれるのを見れば、男は激怒して復讐心を抱くだろうし、妻の頭が切り落とされるのを見れば、恐怖で身を縮めて従順になるだろう。アメリカ人に対する秘密の航空戦。ギロチンの研究…」ハンニク副提督が言った。彼はコミーが一人で座っている弁護テーブルに近づき、被告を睨みつけた。「あなたはどんな狂人ですか？」と尋ねた。

コミー被告はパネルに向かって演説してもいいかと尋ねた。「逮捕されたときから、私はバラク・オバマ氏を想像上の犯罪行為に巻き込むように圧力をかけられてきました。これらの文書は、捏造されたものもあれば、実際には起こらなかった仮想的なロールプレイのシナリオもあります。バラクは善良な人です。いつもそうでした。おそらく、この国がこれまでに経験した、あるいはこれから経験するであろう最高の大統領です。あなたが聞いているこれらのシナリオには、バラクは一切関与していません。FBIが協力したのはヒラリー・クリントンとブレナンでした。しかし、それらは実現しませんでした」とコミーは説明した。

ハンニク副提督は委員会で、コミーは情報機関の職員として、生活のために嘘をつく訓練を受けてきたし、他の人にも教えてきたと述べた。ハンニク副提督は、コミーの独り言にも動じることなく、コミーの抑えきれない権力への渴望と飽くなき欲望が、彼を脱出不可能な深く暗いトンネルへと導いたと述べた。

「今は死んでしまった人や、もうすぐ死んでしまう人の名前を喜んで挙げているのは興味深いですね。オバマがこの事件の首謀者であることは分かっています。あなたの証言はさておき、彼はいずれあなたが今座っている場所に座ることになるでしょう。そして、これらの文書が作り話ではないことも知っています」とハンニク副提督は語った。

コミーの役割についての彼の鋭いコメントはパネルの心を打ったようで、彼がコミーを憎むべき人間、人類にとっての醜態と評したとき、3人のメンバーは一様にうなずいていた。

「明日会いましょう」とハンニク副提督は答え、金曜日の午前10時に法廷を再開すると言った。

### ジェームズ・コミー、ギロチンによる死刑宣告を受ける

By Michael Baxter - 2021年6月13日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/06/blog-post_13.html)より翻訳)

[https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/06/blog-post\\_13.html](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/06/blog-post_13.html)

6月4日(金)、グアンタナモ湾の軍事法廷は、ジェームズ・コミー前FBI長官を反逆罪と殺人罪で有罪とし、**ギロチンによる死刑**を宣告した。

これは、コミーが他人の首をはねることに倒錯した喜びを感じていたことを象徴している。

米海軍法務顧問団のジョン・G・ハンニク副提督が、コミーが、法を守るアメリカ市民に対して確かに非合法的な残虐行為を行ったと証言した元FBI職員を尋問し終えた直後に、軍のコミーに対する訴訟を裁く将校たちは評決に達したのである。

最初に証言したのは元FBI現場監督のクリフォード・コルビンで、彼は2015年から2017年にかけてコミーの下で、**社会に捨てられたホームレスである浮浪者を拉致して処刑するという秘密の「ベータテスト」に取り組んでいた**。ハンニク副提督に迫られたコルビンは、コミーの私的な「ヒットチーム」が、「誰かが行方不明になったと報告する」可能性が最も低い人物を探し出してターゲットにし、しばしば連邦緊急事態管理庁と共同作戦を行ったことを熱弁した。自然災害の際には、ホームレスの人々に、連邦政府が自分たちを送り込んできたのだと信じ込ませ、希望を失った人々や忘れ去られた人々に食事や避難所を提供していたのである。

コルビンの証言は、デリック・ホワイトの証言を裏付けるものであった。「私は自分のしたことを深く後悔しています。不法な命令に従ったことを後悔しています。しかし、私は自分の行動に責任を持ち、自分の罪を償う覚悟です。指示はジェームズ・コミーから下されたものでした」とコルビンは述べた。

「ジェームズ・コミーはデリック・ホワイトの父親の殺害に参与していたのですか？そして、ギロチンにかけられた他の人たちは？犠牲者は具体的にどのように選ばれたのですか？コミーが個人的に誰をターゲットにするか言ったのですか？」とハンニク副提督が尋ねた。

「私たちは自分の裁量で、**ホームレスや浮浪者、麻薬中毒者など、そういう人たちだけを選ぶように**言われました。ジェームズ・コミーが名前のリストをくれたわけではありません。この作戦は、型破りな方法で確実に死ぬという状況に直面したとき、人々がどのように反応するかを調べる心理的ストレステストの一環だと言われました」とコルビンは説明した。

「何のために？」とハンニク副提督が尋ねた。

コルビンはこの話を詳しく説明し、もしコミーの最終計画が成功していたら、愛国者や民兵が全国的に一斉検挙され、全員がFEMAキャンプに送られてギロチンで処刑されるのを待つことになっていただろうと主張した。コルビンによれば、FBIとFEMAは、ハリケーン・カトリーナの時にさかのぼって、数え切れないほどのホームレスを「練習」していたという。オバマ大統領が就任した2008年、FBIはこのプログラムを加速させ、週に50人ものホームレスを処刑することもあったという。

「オバマがコミーにこれらの指示を実行するように指示したことは確かですか？」とハンニク副提督は尋ねた。

「私は言えません。私への命令はジェームズ・コミーからでした」とコルビンは言った。

コルビンの証言の大半について黙って聞いていたコミーは、突然、コルビンの証言を遮り、「明らかに金をもらって嘘の証言をしている大胆な嘘つき」と言った。コミーは、コルビンの虚偽の証言を非難し、自分を不当に陥れようとする「あからさまな嘘」を見逃すように法廷に訴えたという。

しかし、コルビンは、立ち上がって、しっかりと人差し指をコミーの方向に向けて立ち上がった。「少なくとも私は、自分にどんな運命が降りかかってきてもいいと認めている。あなたは病人だ、コミー。あなたは無実の人々を処刑するよう私に命じたのです。その理由は、自分の変態的でサディスティックな心を満足させることにほかなりません」。

ハンニク副提督は、コミーに激しい一撃を与えた。ハンニク副提督は法廷で、コミーのイニシャルが入った25枚のFBI内部メモを見せた。そのメモには、ニューオーリンズ、ニューヨーク、フィラデルフィア、オースティン、ロサンゼルス、の街中で、**FBIのギロチンプログラム**に参加する「ボランティア」を探し回るよう、各地域の上司に指示されていた。コミーはいくつかの文書で、FBIのノルマを達成できなかった部下を叱っている。

「コミーの手は刃を放さなかった。彼自身があまりにも臆病なので、他人が彼の汚い仕事をしたのだ。しかし、彼は、法務総監が少しの努力で見つけた書類で自分自身を巻き込むほどずさんだった。彼は何でも否定できるし、目撃者の証言はさておき、これらの文書だけで、アメリカ人に対する最大の虐殺の1つにコミーが関与していることになる。はっきりさせておきたいのは、軍事委員会事務局によれば、コミーは大量殺人の罪に問われるためにその刃物を公開する必要はなかったということだ。彼が故意にこれらの犯罪に参加したことは、あなたの方將校がそれを受け入れるならば、有罪にするのに十分な証拠である。よく言われるように、ボールはあなたの方のコートにあるのです」とハンニク副提督は締めくくった。15分後、委員会はすべての訴因について有罪の評決を下し、コミーを、彼が多くの人々の処刑を命じた方法であるギロチンで処刑するよう勧告した。

ハンニク副提督は、法務総監には判決に関する広範な裁量権があると述べ、コミーの首をまな板の上に置くことに同意し、その判決は2021年7月4日までに実行されることになった。





ジェームズ・コミー、ギロチンに頭を奪われる  
By Michael Baxter -2021年6月30日 ([Real Raw News](#)より翻訳)

9

[https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/06/blog-post\\_30.html](https://realrawnewsj.blogspot.com/2021/06/blog-post_30.html)

月曜日の朝、元FBI長官のジェームズ・コミーが当然な理由で死んだ。ギロチンの刃で頭を切断され、心臓が停止したのだ。

既報の通り、6月4日、軍事委員会事務局はコミーに殺人と反逆の罪を犯したと判断し、独立記念日までに首を切ることを決定した。月曜午前11時、米海軍法務顧問団がその約束を果たし、ジョン・G・ハンニク副提督が処刑に先立って簡単な式典を執り行った。

クリントン氏やポデスタ氏の死刑執行とは異なり、コミー氏の死刑執行にはファンファーレがなく、海兵隊のデビッド・H・バーガー將軍を含む6人の軍人が、コミー氏の悲惨だがふさわしい死を目撃しただけだった。また、これまでの死刑執行とは異なり、コミーの死刑執行には詳細な説明がなかった。

2人の制服を着た憲兵がコミーを残酷な装置の前に連れて行き、彼の頭をまな板の上に置いた後、ハンニク副提督が自らレバーを引いて88ポンドの刃を14フィートの高さから落とす。コミー氏の頭はバスケットの中に落ち、バスケットは密封された後、未知の場所に運ばれた。

処刑は、グアンタナモ湾の南端にあるウィンドワード・ポイント灯台の近くで行われた。

この出来事に詳しい関係者がReal Raw Newsに語ったところによると、**コミーの命を奪ったギロチンは、オバマ前大統領と一緒に、法を守る愛国者たちに使おうと思っていたものだった**という。

その意味で、この死刑執行装置は、アメリカとその国民に対するコミーの憎悪の象徴であった。

コミーは、死の直前、憲兵に引きずられてギロチンに向かう際、蹴りながら叫び始めた。彼は次のように語った。「神様、殺さないでください。私は何も悪いことはしていません。命令に従っただけです。私には子供がいます。死にたくありません。これは正義ではありません」。

「あなたには取引を受け入れる機会が何度もありました。今となっては遅すぎます」とハンニク副提督はきっぱりと答えた。

「こんな扱いを私はされるべきではない」とコミーは続けた。

憲兵は彼の首にロック装置をかけて、彼を動けないようにした。両腕を驚づかみにされ、手首には手錠がかけられ、プラットフォームに固定された。刃が落ちると、ハンニク副提督は小さな集会で挨拶をした。

「私たちはこんなことを楽しんではいません。彼にはこの運命を避けるチャンスが何度かありましたが、すべて拒否しました。今日、正義は果たされました」と語った。



さようなら、オバマ「あなたは史上最悪の爆弾魔でした」

PRESIDENT 2016年2月13日号

[部谷 直亮慶應義塾大学SFC研究所上席所員](#)

<https://president.jp/articles/-/21210?page=1>

言っていたこととやったことが違う

つい先日、バラク・オバマ前大統領がこの**2年間で5万発**近い爆弾を世界中でばら撒いたことが、米外交問題評議会のサイトで明らかにされた。2016年は2万6171発、15年は2万3144発を投下した。1回の爆撃で複数の爆弾が落とされることや、発表されている国々以外への投下を考えれば、より増える可能性は高い。

英国の調査報道ジャーナリスト協会のまとめでは、ブッシュ政権の8年間でパキスタンにおける無人機攻撃は51回、民間人を含む死亡者は少なくとも410人であった。一方、オバマ政権では373回、2089人となっている。イエメンやソマリアを追加すればさらに増える。

これらの無人機による攻撃では、いくつかの問題も指摘されている。

第1に法的根拠である。他国内で警告や裁判なしに不十分な確認で、ミサイルを撃ち込み「処刑」していることが問題視されているのである。オバマ政権の当局者ですら、この点を認める声がある。

政権の説明する法的根拠は自衛権の先制使用のみであり、ブッシュ政権のイラク攻撃と同じである。

第2にプロセスである。12年にオバマ政権の当局者が「タフな大統領」としてリークしたところによれば、毎週火曜日の会議で「ベースボールカード」と称されるテロリストたちの履歴書を確認し、**大統領自身が暗殺リストを決定している**という。

この基準や内容は公開されていない。「デスノート」で攻撃しているようなものなのだ。

第3に民間人の付随的被害である。俗な言い方になるが、無人機のカメラでターバンと髭の男性を確認して対戦車ミサイルを撃ち込むのだから人違いはあるし、当然巻き添えも発生するというのである。

数千人以上の民間人が死亡しているとするデータもある。内部告発によれば、13年の軍の報告書では「ある期間に200人以上を殺害したが、標的が正確だったのは35人だけだった。また、5カ月間の空爆で死亡した9割が意図した目標ではなかった」と報じている。

無人機攻撃の主役を軍と共に務めているCIAを率いる長官のジョン・ブレナン氏は「オバマ大統領も自分も、多数の命を救うためには、少数の犠牲はやむをえないと思っているし、巻き添えがないようにすべきだが、やるべきときに躊躇はしない」と取材に答えており、巻き添えもやむなしと断言している。

以上のことは何を示すのだろうか。第1に、もはや「戦争」の定義が溶解していることだ。確かにオバマ前大統領は「非戦」の大統領だったのかもしれない。しかしながら、それは「国家間戦争」であり、実のところ、「無人機による戦争」の道を本格化し、おびただしい死傷者を生み出した。

反米意識を高揚させ、テロを誘発する悪循環に導いただけとも言える。

第2に、政策決定者なるものが、言葉と行動と思考のトリレンマに陥りがちだということである。

要するに、言行一致の政治家は本心ではない。思考と発言が一致している政治家は、口先だけで行動がついてきていない。行動と考えが一致している政治家は口では嘘ばかりついている。

ひどい場合は、言っていること、やっていること、考えていることのすべてがちぐはぐだ。

オバマ前大統領の美しいレトリックと陰惨な大量の死体の山はそれを物語っているのである。

第3に、オバマの美しいレトリックを見て、「平和の使徒」であるかのように称賛する一方、

トランプ新大統領の荒々しく激しいレトリックを見て「破壊の魔王」とするのは間違いの可能性が高いということだ。

オバマはブッシュ元大統領を遥かに上回る暗殺作戦を実施し、民間人を含む死体の山を築き上げた。

他方、トランプが無人機作戦を継続するかどうかは不明であるし、仮に乱用しても、それはオバマがつくり上げた法的根拠と軍事態勢とシステムに基づくものであり、オバマの責任は変わらないからだ。

オバマ前大統領は無人機戦争の育ての親であり、大量の爆弾を世界でばら撒いた大統領だったのである。



在任中に「戦争」を起こさなかったアメリカのトランプ大統領って  
じつはスゴイんじゃないかと思う話。

フォレスト出版 2020年10月19日 18:09

<https://note.com/forestpub/n/n897b1c309fe8>

フォレスト出版編集部の寺崎です。

アメリカの大統領選が控えるなか、先日、『ホントはすごいトランプ大統領』というような企画書を会議に提案したところ、かなり編集部の雰囲気が微妙でした。

世の中の的には「トランプは叩くべき対象」として代表格な感じで捉えられています。

ドナルド・トランプという、あの「ブルシットな怒り顔」を思い出す方も多いことでしょう。

アメリカという国は第二次世界大戦以降、ずっとなんだかんだ色んな戦争行為を起こしてきた国です。朝鮮戦争、ベトナム戦争、レバノン侵攻、リビア爆撃、パナマ侵攻、湾岸戦争、アフガニスタン紛争、イラク戦争。でも、**トランプ現政権で起こした戦争はゼロ**。これって、すごいことだと思いませんか？

バラク・オバマの闇は まだまだたくさんありますが 以上にしておきます。

デクラスが始まれば、オバマの逮捕は確実に行われることでしょう。

以下は7月17日の **Tanto Tempo** の記事です。



### Tanto Tempo

2021-07-17

トランプの再就任はもうすぐだ

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2021/07/17/225806>

トランプのディープステート・ページに關与した情報筋が語ったところによると、ドナルド・トランプの大統領への再就任は差し迫り、彼の大統領としての最初の義務は、世界的なパンデミックを「吹き飛ばす」と破壊された社会に秩序を回復することになると語った。

就任式の夕方にトランプは国民に演説し、Covid-19のデルタの変異種は、従順な市民への拘束力の喪失を恐れる狂人によって夢見られている虚偽であることを暴露するだろう。

社会が実際には**いつものインフルエンザと同じくらい致死性のないCovid-19ウイルスとだ**ということを理解し、市民がマスクをすることを避け**危険な予防接種に関する正当な疑問を提起する**につれて、世界保健機関（WHO）はCDC内部と国際保健機関内部のエージェントに連絡を取り、彼らに再び、世界を悍ましい法令遵守にぶち込む目的のこの計画に参加するよう促した。

#### デルタ変異種などない。すべて捏造だ

眩惑的な解決策を推進したのはバイデンのCDCディレクター、ロシェル・ワレンスキーだった。

「マスクを着用し、予防接種を受けるように人々を怖がらせる」ために、Covid-19は強い伝染性があり潜在的に強力な毒性をもっているという嘘を捏造したのだ、と情報源はいった。

この情報源はまた「**デルタ株のようなものはない。それは完全な捏造だ。**」

トランプはワレンスキーと市長、知事、郡の裁判官を含む多くの州および連邦当局者との間の手紙と電話録音を持っているが、彼らは皆偽のこの病気を支持し彼女に忠誠を誓った。

トランプはこれらの犯罪者に対して処置を進めているが、彼らの多くはまだ逃亡中だ。

しかし、彼が大統領オフィスに戻れば逮捕は急速かつ激烈に起こる。ワレンスキー、ファウチ、ニューサム、ホイットマー、AOC（アレキサンドリア・オカシオ・コルテス）、ペロシ — 彼らはトランプの就任に先立って逮捕される」といった。

トランプは真実を国民の前にさらけ出す。地球は芯から震えるだろう

12

トランプは緊急放送システムを稼働させ、敵対的なエアウェイブ(CNN、MSNBCなど)を抑え込み、真実が可能な限り広い視聴者に届くようにする。彼は事実を暴露する。

とても伝染性が高いが生命を脅かす危険のないウイルスは武漢ウイルス学研究所から洩れた。新世界秩序(NWO:クlaus・シュワブの世界経済フォーラム(別名ダボス会議)が制定)とディープステートと連携した世界の保健機関は、ワクチンの販売と保険請求を通じて巨大な利益を得た。ついにはアメリカを破産させ資本主義を破壊し、ベネズエラのような単一の社会主義国家に変えるという企図だったのだ。

トランプを支持する人々は、検証された通信と音声通信を含む反駁不可能な証拠を得る。バイデン政権は法を守り愛国的なアメリカ人を征服するためと、大統領執務室の正当な地位を再開するというトランプの努力を阻止するためにCovid-19を利用した。

「トランプの発表は地球をその核まで揺さぶるだろう。」

彼は、多くの人がディープステートの嘘で固められているので、全員が真実に目覚めることはないことを知っている。しかし、彼は十分な数の人々が信じることも知っており、ディープステートを根絶させる強力な最後の死の一撃を加える。」と情報源は語った。

さらに、トランプは謙虚になり、ワープスピード作戦とCovid-19ワクチン接種を推進したことを国民に謝罪するだろうといった。「トランプは、彼がワクチンを支持するように騙された方法を説明し、また、その不正が二度と起こらないようにするために既に取った措置を説明するだろう」

トランプ大統領の復帰とデクラスが 早ければ10月15日前後、遅くとも10月末までに実現することは確実でしょう。

## コロナワクチン情報

【長野】松本歯科大でコロナワクチンを2回接種した学生・大学関係者の9割に発熱などの副反応、7割が学校を休む

<https://rapt-plusalpha.com/society/post-17323/>

長野県塩尻市の松本歯科大学で、7月21日から2回目のコロナワクチンの職域接種が始まりました。同大学では医療従事者枠を使い、いち早くコロナワクチン接種を受けた学生たちのうち9割が、2回目の接種で発熱などの副反応を訴え、7割が接種を受けた次の日に学校を休んだことが明らかになっています。

同大学の宇田川信之歯学部長は、「2回目でもかなりの副反応があった。接種部位の腫れ、発熱、頭痛、けん怠感、ひどい関節の痛み、吐き気、下痢の症状があった」と述べています。

若い世代がコロナワクチン接種を受けると、特に重篤な副作用が出るのが判明しており、中でも心筋炎を起こした場合は、一生回復することなく、心臓の機能が低下し、いつ心臓発作に見舞われるか分からない状態となります。

## アメリカのコロナワクチン・ストライキの現状

### 日本や世界や宇宙の動向

2021年10月14日09:20 [10/14-その2 米国:輸送危機について](#)

<http://blog.livedoor.jp/wisdomkeeper/archives/52069272.html>

米国の主要港に大量の貨物船が停泊していると言う情報がありましたが、それは人手不足なのではなくトラックドライバーがこれらの港から荷物の搬送を拒否しているからでした。

やはり現場を知っている方の情報がないと単なる憶測で終わってしまいますね。

貨物船が到着するのは民主党が独裁支配している州や都市の港であるため、トラックドライバーたちはワクチンを強制的に接種させている民主党行政州の港に行きたがらないのです。

そのため荷物が港、鉄道のターミナル、倉庫に溜ってしまったのです。

面白いことにワクチンの強制接種を拒否しているトラックドライバーたちは荷物を赤い州（共和党行政州）にしか運ばないため、貨物船も赤い州の港に向かっているそうです。

ということは、ワクチンを強制的に接種させている独裁的な民主党行政州や都市には物資が届かなくなり、そこで暮らしている人々の生活が悲惨な状態になるということです。

一方、ワクチンを強制的に接種させていない共和党行政州や都市では輸送危機や食料危機の問題が民主党行政州や都市よりも軽く住み人々は餓死することもないでしょう。 共和党行政州は農業が盛んですし。

日本のトラックドライバーに関してはワクチンを拒否する人は少ないのではないかと思います。

多くのトラックドライバーがワクチンを接種してしまったなら、今後、トラックの事故が増えていく可能性があります。車道が益々危険になります。

10月13日付け

米国で輸送危機と供給不足が起きている理由がこれです！

運送会社を運営しているジョイス・ポーウェンさんによると：

ワクチン接種を拒否しているトラックドライバーはワクチンを強制的に接種させている青い州（民主党行政州）や青い都市（民主党行政都市）に荷物を搬送するのを拒否しました。

そのため米国の港、鉄道のターミナル、倉庫から荷物が出荷されずに溜まってしまっているのです。

米国の輸送危機は、これらの港や鉄道のターミナルが全て青い州にあるために起きています。

そして米国にいる300万人のトラックドライバーのうち**140万人**のドライバーが青い州に荷物を搬送するのをやめ、赤い州に搬送先を変えています。私の運送会社も同様です。

1カ月以上も前からカリフォルニア州の港で荷下ろしができずに停泊したままだった多くの貨物船がパナマ運河を通過してテキサス州ヒューストンの港に向かっています。

同時にニューヨークの港に停泊していた多くの貨物船も赤い州の港に向かっています。

**ニュースではこの事実を伝えません。**そのため私が今実際に何が起きているのか、供給不足がなぜ起きているのかについて最初にお伝えしています。

## 日本や世界や宇宙の動向

2021年10月12日09:30 [10/12-その1 ついパイロットが操縦席で死亡！](#)

<http://blog.livedoor.jp/wisdomkeeper/archives/52069222.html>

米国の航空会社はスタッフ全員にCovidワクチンを接種させていますが、数日前に**2回目の接種を終えたスタッフの間で大惨事が起きています。多くのスタッフが体調を崩し働くことができなくなっています。**

そしてついに私たちが懸念していたことが起きてしまいました。

デルタ航空のパイロットがフライト中に突然死してしまいました。

空の上でパイロットが死亡し、副操縦士が冷静に航空機を緊急着陸させました。副操縦士も同時に具合が悪くなっていたらどうなっていたことでしょうか。

今後、ワクチン接種の回数が増えれば、さらに多くのパイロットやフライトアテンダントがフライト中に具合が悪くなったり最悪死亡してしまうようなことになるのではないのでしょうか。

今でも米国では**便の大量キャンセル**が起きているようです。

バイデン偽政権の指示により、米国の州知事と州職員らは勝手に州民(大人も子供も)に対するワクチン接種を強行しています。どの州の議会もワクチンの強制接種を可能にする法案を可決させていないのに、です。本当に狂っています。企業も従業員に対してワクチンを強制的に接種させることは違法行為なのに接種しなければ解雇すると脅して無理やり接種させています。本当に狂っています。そのため多くの従業員(航空会社も同じ)が辞めているか仕事を放棄しています。

日本でも職域接種では半強制的に接種させているのではないのでしょうか。雇用主は完全に違法行為をやっているということです。これは犯罪です。日本航空と全日空もスタッフ全員にCovidワクチンを接種させたのでしょうか？ニュースで報道されないのかわかりませんが。。。もしそうなら接種の回数が増えれば増えるほど飛行機が危険な状態になるということです。1回目の接種後よりも2回目、3回目の接種後に死亡したり重度の副反応が起きやすくなっています。接種数日後に亡くなる方もいれば、数週間後、数か月後、数年後に体調が急激に悪化し死亡するケースも増えるのではないかと思います。特に、空の旅の仕事に携わる人々、医療従事者、運転手がワクチンの副反応で大惨事を起こす危険性があります。日本でもすでに「おかしな」交通事故が頻発しています。これもワクチンのせいかもしれません。

以上のアメリカの貨物輸送や航空便の大混乱はアメリカのメディアは報道しませんし、当然日本のメディアも報道しません。この大混乱は、トランプ大統領が復帰することでしか収まりません。いよいよ、トランプ大統領の復帰とデクラスの開始が始まります。